学校番号	412

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村）						
副教材等	ペン字　実務　（日本書写研究会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国、日本の文化の歴史的背景を踏まえて、書の起源から現代の書への流れを学び、用具用材による表現の違いも理解して技能を身につけていきます。書を愛好する豊かな心情を育てながら、工夫した自己表現を目指します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の幅広い学習活動を通して審美眼を養い、感性を高めるとともに、書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
創作・作業活動から自己の在り方を考えつつ、現代の文化の多様性に即した自己表現の方法を培い育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
自己作品の完成に向けて、根気よくやり遂げようとする態度や書を通して心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現の基礎	用具用材について	a:用具用材の名称・特徴の理解 b:用具用材の適材適所の使用 c:用具用材の取り扱い	学習記録（ノート）	学習成果（作品）	授業中の行動（観察）
	漢字の書	1．楷書の学習（唐の四大家） 2．行書の学習（王義之、空海他） 3．隷書･草書の学習 （1～3、書道史を踏まえて）	a:書道史における各古典の位置及び時代的筆法の理解 b:異なった古典表現の書き分け c:作品集をまとめる能力	学習記録（ノート）	用筆法の理解を踏まえた学習成果（作品）	装丁などの工夫（提出物全体）
2学期	漢字の書	篆書の学習（篆刻）	a:篆刻方法の理解 b:印稿の練成 c:押印、補刀による練成	篆刻プリント（基礎検字）	篆刻プリント（印稿）	篆刻プリント（印影及び自己評価）
	仮名の書	1．日本の古筆の学習 （時代背景を学び臨書）	a:日本の古筆の時代背景とともに基礎を学ぶ。 b:様々な古筆を臨書する。 c:美意識に基づく作品仕上げ	学習記録（ノート）	学習成果（作品）	提出物の装丁
3学期	漢字仮名交じりの書	1．実用書の学習 2．詩文の表現 （言文一致による言葉の表現の多様性と書表現を重ねて学ぶ。）	a:書式、構成について学ぶ。 b:自己を主体とする表現の工夫 c:知識、技能の駆使	学習記録（ノート）	学習成果（実用書作品）（詩文作品）	表現などの実習の工夫（観察）
	表現の基礎	用具用材について	a:用具用材の名称・特徴の理解 b:用具用材の適材適所の使用 c:用具用材の取り扱い	学習記録（ノート）	学習成果（作品）	授業中の行動（観察）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度